

防災だより

地震「予知前提」40年ぶり見直し

東海・南海トラフ「予知」から 防災・減災重視へ



南海トラフ巨大地震の想定震源域

東海地震の予知を前提とした「大規模地震対策特別措置法」の仕組みが40年ぶりに見直される。

東海地震は、全国の中でも特別な条地の体制がとられてきた。1976年、東海地震が「明日起きても不思議ではない」とする説が学会で発表された。これを受け78年警戒宣言などの事前対策を定めた「大規模地震対策特別措置法」が出来た。当初は国が唯一予知できるとした大震法であったが、研究が進むほど地震の予知が難しいことがはつきりしてきた。2013年には別の部会「精度の高い予

知は難しい」との見解をまとめている。こうした流れを受け、予知を前提にした防災対策は改め、新たに現実的な防災、減災対策に取り組むように切り替えるべきだと指摘したのです。

国は「新たな防災対策の構築を急ぐ」と表明した。

こうした考えをもとに今後、各自治体が地域の実情に応じた具体的な対策を練り進めることになる。

地震対策は耐震化など予知を前提にしない対策が基本であることには変わりはない。

静岡県の防災訓練も、すでに警戒宣言を前提にした「予知型」から「突発型」中心になっている。

感震ブレイカー講習会 参加して

大地震による停電後の通電火災が注目されています。その対策に有効な感震ブレイカーの設置を促進する狙いから、防災部防災VGは、10月20日(金)午後、自治会館において「防災講演&感震ブレイカー講習会」を開催しました。会には釜利谷消防出張所長崎俊介所長、株式会社リントック21の西村賢治さんが出席し、参加した36人の地域住民を前に、感震ブレイカー設置



の有意性を強調しました。

阪神淡路大震災では、転倒した家電のコードが切断され、通電後スパークして火災が発生したとの事例が報告されています(長崎所長)。その対策として、大地震発生時にブレイカーを落とすのが最も有効とのこと。

今回紹介されたのは、ばね式の簡易ブレイカーです。震度5強の揺れで通電遮断するという内閣府の指針に準

拠した製品で、家庭の分電盤に、付属の両面接着テープで簡単に取り付けられます。揺れが生じると、ばねの力で通電を遮断し、通電後の火災発生を防止するという手の平サイズの製品で、価格は3〜4千円程度。防災対策と言え、保存食の確保、家具の転倒防止などが優先されますが、感震ブレイカー設置の重要性をぜひ理解してほしいとの西村さんの言葉が印象的でした。

防災部長 三上 典彦

第18号
平成29年11月15日
発行
関ヶ谷自治会 防災部
防災ボランティアグループ
*防火チーム
*情報・通信・電機チーム
*医療・介護チーム
*食糧・物資チーム
*防災資機材取扱チーム
自治会館 784-4447

自助・共助・公助



9月16日土曜日、小雨の中、実施されました自治会防災訓練は、地区長・班長を中心に班内の安否確認を、485名の参加で無事終了する事が出来ました。例年の安否確認に加え、

新しい試みバージョンアップ

① 災害対策本部の設置・稼働・本部長の対策本部開設宣言に基づき、自治会館の安全点検・注意喚起の張

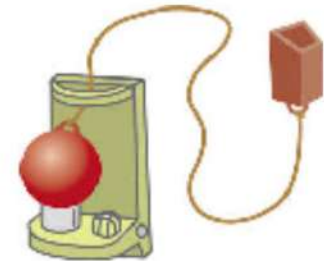
② 防災プリンター等の再稼働テストを実施しました。この結果を今後にどう生かすかを計画・実行していく予定です。

防災VG代表 徳岡 正彦

今年2つの新しい試みを計画・実施を行いました。

紙を貼付。防災資機材チームによる発電、それを情報通信電気チームが配線し、パソコン・テレビ・電話・FAX・アンケート結果はすでに全戸に配布しております。

更なる備えの促進、災害時の減災に繋げることを目的に実施、629件56.7%の回収率でした。



防災クイズ

「池上彰のそうだったのか」のTV放映より

9/1の防災の日に因んで放送された「地震・水害・雷対策」もう昔と今では違っていました。私も観られた方も間違いが多かったように思います。

次の問いに対する皆様の答えは?

- 地震発生の瞬間最初にすべきは
A:火を消す B:物が落ちてこない場所へ
- 家の中で比較的安全な場所は
A:トイレ B:玄関
- 食料品を備える場合に推奨されているのは
A:長持ちする非常食 B:普段の食糧を多めに買う
- 食料や生活必需品何日分用意すべき
A:3日分 B:1週間分
- 乾パンと一緒に入っているものは?
A:氷砂糖 B:塩
- 何も無い広い場所で雷に会ったら避難の場所は
A:電線の下 B:建物のそば
- 雷が鳴っている中外出する時は
A:金属類を外す B:金属類を外さない
- 外出時に遠くで雷の音が!どうする?
A:雷鳴が遠いから大丈夫 B:聞こえなくなるまで待つ
- 豪雨で浸水、適切な履き物は?
A:長靴を履く B:ビーチサンダルを履く 正解は裏面にて↓

関ヶ谷地区全世帯「防災アンケート」結果報告

◆アンケートの目的・特に「自助」に重点をおき、各質問に回答を頂きました。

①防災意識・自助の備えの確認

②今後、更なる備えの促進

③災害時の防災・減災に繋がるものとの計画しました。

◆調査の概要 回収率は56.7%と期待値を下回った感は否めません。

◆調査結果のポイントとこれからの対策

調査対象	関ヶ谷地区全世帯 (1110世帯)
配布方法	全世帯班長によるポスティング
調査期間	平成29年8月15日~9月16日
回収結果	回収数・ 629枚 回収率・ 56.7%



防災ボランティア募集中。"一緒に活動しませんか"

スタンドパイプ消火訓練

「大震災でおきる火災」 誰が消火活動をおこなうのか

平成29年8月19日(土) 10時頃 関ヶ谷地区で火災発生
 ご近所の助け合い、協力で 初期消火活動が功を奏し、被害は
 殆んど有りませんでした。 そんな事を思いながら この日
 の訓練を実施致しました

消防所員5名の指導・支援で、
 住民3人一組で訓練を実施しまし
 た。
 消火栓の蓋が重く時間が掛かる
 人、スタンドパイプの接続にてこ
 ずる人、ホース・筒先の扱いにな
 れない人等：放水開始の合図でやっ
 と筒先から水が勢いよく飛び出す
 と、筒先担当者がふらつくシー
 ン
 もありました：皆さん真剣な表情で
 した。
 評価は：一軒全焼と：冗談を交えな
 がらも真摯に消火訓練を受け、無事
 訓練を終りました。
 釜利谷消防所長崎所長の挨拶で：
 大震災火災では、消防隊が出勤でき
 ない事が想定される。
 では、「誰が消火活動を行うのか」
 ：それは、皆さん自身です。近所の
 住民の助け合い、協力が大切です。
 そのための訓練です。



暑いなか、熱心にスタンドパイプでの消火活動
 訓練を行う住民の皆さん

8月19日 小学校近くの古いタ
 イプの消火栓で消火訓練が行われた。
 参加者は、女性8名と男性19名
 の27名。私は2回目。自治会館に
 置いてあるスタンドパイ
 プは、災害時に自宅、近
 隣の初期消火に役立てる
 ためのものとの説明があっ
 た。
 頼りにしていた家庭の消火器1本
 はどれ位で空になるのだろうか。驚
 くほど早く、16秒で空になり、消

多くの方に防災時初期消火に関心を

46・6 藤原 喜巳子

当、②ホースを伸ばし、放水合図の
 連絡する担当、③放水担当(1分
 間に100%)に分かれ、順次体験し
 た。私は③を体験したが、①の蓋は

「スタンドパイプ」は、初期消火
 活動に有効な消火器具です。万が一
 の震災に備えた訓練です。
 今日の参加者は、男性19名、女性
 8名の27名。今回、訓練場所近く
 (9地区・44軒)の住民に参加呼び
 かけを致しましたところ7名の参加
 が有りました。
 今後も地区単位の参加呼びかけを
 致します。自身の身を守り・町を守
 る訓練です。
 是非、皆様ご家族、ご近所の皆様
 をお誘い合わせのうえ参加ください。
 防火チームリーダー
 23・14 石橋 利和

消火栓バルブはイギリス式

スタンドパイプのバルブは逆だった

32・8 西坂 明比古

この度は、釜利谷消防出張所の
 皆様のご指導のもとで消火訓練に
 参加させていただき、有難うござ
 いました。
 私は、現役時代に会社で消火訓
 練を受けていましたので、今回の
 訓練では特に「スタンドパイプ」
 というものに関心がありました。
 このスタンドパイプとは、消火
 栓マンホールの蓋を開け、立ち姿
 勢で消火栓のバルブ(弁)の上
 直接セットできるように考案され
 たアルミパイプに小口径ホースの
 接続金具がついた消防器具のこと
 です。
 これを使うことにより、人がマ
 ンホール内にかがみこむ不安定な
 姿勢でホースを消火栓に接続しな
 くて済み、安全で迅速に、そして
 初心者でも容易にホースの接続が
 できるという優れたものです。
 私は、「スタンドパイプ」をセッ
 トする役割を担当しましたが、実
 際にやってみると「あれっ違うぞ！」
 と思ったことが一つありました。
 それは、バルブの開閉方向が、家
 庭の蛇口ハンドルとは逆だったこ
 とです。
 消防士に理由を尋ねると、「消
 火栓のバルブは、イギリス式だか
 ら」ということでした。
 訓練の後、なぜイギリス式は逆
 なのかを調べてみました。明治初
 期に全国に先駆けて導入した横浜
 市の水道は、イギリスの水道技術
 によるもので、バルブ等の機材も
 イギリスから輸入したものが使わ
 れたそうです。
 そして、当時のイギリスのバル

ブ規格では、開閉方向が、右回転
 が「開」だったということのよう
 です。
 その後、規格も変わり、一般的
 なバルブは、私達にも馴染みの
 深い右回転が「閉」、左回転が
 「開」が標準になりました。
 しかし、消火栓のバルブに関し
 ては、開閉方向の違うバルブが混
 在すると火災現場の消防士が混乱
 するため、新しいバルブでも明治
 以来の右回転が「開」(「あける」
 のあの字の方向)、左回転が「閉」
 (「しめる」のしの字の方向)が
 継承されてきたようです。これ
 を知っただけでも、横浜の歴史を
 感じますね。
 一方、消火訓練では、スピード
 感には若干難があったが、3人が
 一つのチームで取り組み、放水ノ
 ズルを持つ人がリーダーになって
 全体を見て指揮することの大切さ、
 スタンドパイプやホース接続後の
 再確認、消防ホースを素早く折れ
 ないように伸ばすこと、そして元
 弁を開く速度や全開にする連携の
 重要性など、実際の訓練でなけ
 れば分からない消火作業の勘所を
 学ぶことができました。
 今回の消火訓練を通じて、いつ
 発生するかも知れない大震災や風
 水害に備え、私たち住民が力を合
 わせて助け合えるよう、平素から
 近所や地域と連携し、自分にでき
 ることは何かを考え訓練すること
 の大切さを、再認識することがで
 きました。
 ご協力ありがとうございました！

クイズの答え

①…B ②…B
 ③…B ④…B
 ⑤…A ⑥…A
 ⑦…B ⑧…B
 ⑨A・B共 X
 履きなれたスニーカー

今後の活動予定

- 毎月開催：防災会議・防災VG役員会。
- スタンドパイプを使った消火訓練：防火チーム・地区長・付近住民が参加。
11月21日(火)10時～遊水地付近28B及川宅前
- 地域防災拠点防災訓練リハーサル：夏山・山の手・関ヶ谷合同
11月25日(土)9時～西金沢学園グラウンド(旧西小)
*防災VG役員・食糧物資・防災資機材チームから運営委員として参加。
- 地域防災拠点防災訓練：夏山・山の手・関ヶ谷の住民・運営委員が参加
12月2日(土)9時～西金沢学園グラウンド(旧西小)
*自動車発電機・情報・通信・電気チーム。
*ポリ袋を使った非常食デモの支援：食糧物資チーム。
- 防災資機材点検：防災資機材チーム。
*12月ライト等乾電池使用点検予定。
*1月発電機の作動点検予定。
- スタンドパイプを使った消火訓練：防火チーム・地区長・付近住民参加 2月25日(日)10時～関ヶ谷辻公園付近予定。

平成29年度防災ボランティアグループ総会

日時：1月20日(土) 10時～12時
 場所：西金沢コミュニティハウス(多目的室・研修室)
 議題：年間活動計画・スキルチーム活動計画・新役員体制等